

われらの

農業委員・推進委員

◇181◇

陸前高田市農地利用最適化推進委員

熊谷 健司さん

陸前高田市農業委員会（戸羽正光会長、農業委員10人、農地利用最適化推進委員11人）の熊谷健司推進委員（59）は、農業委員会業務を行う傍ら、市内の中学校に出向き、キャリア教育の一環として農業の魅力を伝える活動にも取り組んでいる。

「作業や厳しさを増す自然環境にも悪戦苦闘しながら地域の人たちの協力も得ながら農作業を進めてきた。」

「リンゴ作りは教員の仕事と似ている部分も多い」と語る熊谷委員。リンゴ作りも子どもの教育も基盤となるのは愛情で、単なる作業ではなく、心を込めてその成長を見守ることが大事と考

えている。また「思い通りにはいかず、成果が出るまでには時間がかかる。根気が必要で、常に一年勝負。毎年同じように作業を行っても、育ち方が異なる」と強意意込みを語る。

熊谷委員は小学校の元教員。55歳で早期退職し、父から市の特産品である米崎リンゴの農園を継いだ。これまでとはまったくの別世界、慣れな



リンゴ園で作業する熊谷委員

面白さでもある」と語る。就農してまだ間もないこと、地元を離れている期間が長かったことから、まずは地区の農地の現状や耕作者の状況を把握したいと、精力的に地区を回っている。

「これまで何気なく見ていた地区の農地も、関心を持つことで問題意識が生まれてくる。特に耕作放棄地については、多くの人に問題意識を持ってもらうことが大事。皆でアイデアを出し合いながら地域の農業を守り、次世代につなげていくための方策を探っていくたい」と強い意気込みを語る。

（陸前高田市農委会・岡渕貴悦情報員）

岩手

中学校で農業の魅力伝える

岩手県支局
岩手県農業会議

盛岡市神明町7-5
パルソビル4階
019-626-8545